

(様式 13)

成果報告書 (案)

令和 年 月 日

エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社 御中

所在地

研究機関

代表者役職・氏名

印

「2020 年度・2021 年度地層処分に係る社会的側面に関する研究（研究件名：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○）」について、委託契約書第 8 条第 1 項の規定に基づき下記のとおり業務の実施に係る成果を報告します。

記

1 業務の成果

(1) 研究の成果（又はその概略）

(2) 研究代表者の氏名

(3) 委託業務の履行期間

令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

(注) 「1 (1) 研究の成果（又はその概略）」には、研究結果の概要を簡潔に記載すること。また、研究内容の詳細を添付すること。

原子力発電環境整備機構支援研究

「2020 年度・2021 年度地層処分に係る社会的側面に関する研究」

研究件名：○○

研究項目名：△△ (※)

研究項目名：×× (※)

※研究分担者と研究を分担する場合に記載

成 果 報 告 書 (案)

2020年〇月〇日

研究代表者：氏名（所属・職名）

研究分担者：氏名（所属・職名）

概要

研究成果の概要

（研究成果を社会にわかりやすく説明することに主眼を置き、研究期間全体を通して実施した研究及びその成果の概要について、200字程度で簡潔に入力すること（最大300文字）。入力に当たって、難解な専門用語の使用はできるだけ避けること。もしくは適宜説明を加えること。）

研究成果の学術的意義や社会的意義

(研究代表者の説明責任の意識の向上や、社会が研究支援金によってどのような研究成果が生み出されたかを容易に知ることができるようにする観点から、研究成果の学術的意義や社会的意義について、200字程度で簡潔に入力すること(最大300文字)。入力に当たって、難解な専門用語の使用はできるだけ避けること。もしくは適宜説明を加えること。)

研究分野：

(研究代表者の専門分野について入力すること (最大50文字)。)

キーワード：キーワード 1、キーワード 2

(本研究課題の研究成果の内容をよく表していると思われるキーワードを1項目以上8項目以内で入力すること(各最大24文字)。)

目次

1. 研究開始当初の背景	1
2. 研究の目的	2
3. 研究の方法	3
3.1 見出し 2	3
3.1.1 見出し 3	3
3.2 人権の保護及び法令順守への対応	3
4. 研究成果	4
4.1 見出し 2	4
4.1.1 見出し 3	4
5. 発表論文等	5
6. 研究組織	6
7. 原子力事業に関連するこれまでの研究（研究費助成等を受けた）実績（過去 5 年間）	7
参考文献	8
添付資料	9

图 目 次

图 3-1 ○○○○	3
------------------	---

表 目 次

表 3-1	ooooo	3
-------	-------------	---

用語の一覧

専門用語

本報告書での表記	意味など

略語

本報告書での表記	正式名称・意味など

1. 研究開始当初の背景

[illegible]

(応募時における背景・動機について、簡潔に記入すること。他の研究予算や他の組織の研究成果等を活用する場合は、その旨記載すること。)

2. 研究の目的

[illegible]

O

(応募時における当初の研究目的について、簡潔に記入すること)

3. 研究の方法

[illegible]

3.1 見出し 2

○○

3.1.1 見出し 3

00

(1) 見出し 4

00



図 3-1 ○○○○○○

注) ○○

出所) □□より作成

表 3-1 ○○○○○○

單位：○○

	○○○○	○○	○○	○○○○ ○○○○

出所) ○○より作成

3.2 人権の保護及び法令順守への対応

(当該研究を行った際に実施した人権の保護及び法令順守への対応の内容及び方法について、記入すること。該当しない場合には、その旨を記入すること。)

1 ○○○○

4. 研究成果

[illegible]

(本研究の成果について、研究の主な成果、得られた成果の国内外における位置づけとインパクト、今後の展望などの点から記入すること。なお、学術研究においては当初予期していないことが起こることがあるため、そういった事象が起きたことにより得られた新たな知見なども記入すること。)

4.1 見出し 2

○○

4.1.1 見出し 3

○○

(1) 見出し 4

5. 発表論文等

[illegible]

本研究で得られた研究成果（雑誌論文、学会発表、図書等）をすべて記入すること。

記入に際しては、現在から順に発表年次をさかのぼり、項目ごとに通し番号を付して記入し、研究代表者、研究分担者には下線を引くこと。なお、論文等は、掲載が決定しているものに限る。

雑誌論文、学会発表、図書の定義は、研究者が自身で業績管理を行う際の基準に則しても差し支えない。一方、雑誌論文、学会発表、図書に当たらない発表論文等はその他に記入すること。

論文等の研究成果を機関リポジトリで公開している場合は、論文等にアクセスするためのアドレスを記入すること。

〔雜誌論文〕

著者名、論文標題、雑誌名、査読の有無、巻、発行年（西暦）及びページを記入すること（以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し、以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入しても可。）。電子ジャーナルに掲載された雑誌論文のうち、DOI（デジタルオブジェクト識別子）コードが付与されている場合は、当該識別子コードを記載すること。DOI コードが付与されていない場合は、論文にアクセスするためのアドレスを記載すること。

〔学会発表〕

発表者（代表）名、発表標題、学会等名、発表年を記入すること。

〔圖書〕

著者名、出版社名、書名、発行年（西暦）及び総ページ数（共著の場合は最初と最後の頁）を記入すること。

〔その他〕

その他、報道関連情報、アウトリーチ活動情報、ホームページ情報（研究成果データベース、ソフトウェア、試作システム等のアドレス）などを適宜記入すること。

6. 研究組織

研究期間全体を通じて参画した全ての研究分担者を以下に留意し記入すること。なお、必要に応じて研究協力者を記入しても差し支えない。研究協力者等の個人名等の個人情報を入力する場合は、本人の承諾を得ること。

- ・氏名は、姓と名の間に空白を入れること
- ・所属研究機関名・部局名及び職名は、研究期間終了時点で提出した実績報告書と同一の所属研究機関、部局名、職名を記入すること。

7. 原子力事業に関連するこれまでの研究（研究費助成等を受けた）実績（過去 5 年間）

（単位：千円）

年 度	研 究 事 業 名	研究件名（研究課題名）	受託／助成額 (税抜)	所管省庁・助成機 関等

参考文献

- (1) ○○○○：「○○○○○」、○○出版、刊行年(20xx)
- (2) ○○○○：「○○○○○」、○○出版、刊行年(20xx)

添付資料

[illegible]

(様式 1 4)

成果概要

研究件名	
研究機関・研究代表者	
研究概要（研究目的、研究方法、得られた成果を簡潔に記載下さい）	

※ 内容を補足する図表等により、成果を分かりやすく記載する。なお、フォントサイズは原則として 11pt 以上とする。